

ステップだより

拠点校：日野市立南平小学校

巡回校：日野市立豊田小学校

令和6年 6月号

「できる力」を育てるために

1学期の折り返しである6月を迎えました。新年度が始まり、学校行事が続き、季節の変わり目でもあるため、少しずつ疲れが溜まってくる季節でもあります。日々「楽しかったです」「疲れました…」「心配です」「嬉しかったです」など、様々な思いを話す子供たち。毎日様々な気持ちを抱えながら、前向きに頑張る子供たちを、今後も応援していきたいと思えます。

さて日々、子供たちと関わる中で感じていることは、ステップ教室で学習することでもある「苦手なことに挑戦」というのを、いかに実現させるか、ということです。うまくいかず、ついつい怒ってしまうことも少なからずあるかもしれません。そこで今回は、少しでも「やる気が出る」方法を一部ご紹介したいと思います。

①それをやることによって「自分が得をする」という考えをもたせる。

叱ってばかりだと、大人も子供も辛いものです。そこでステップでは「これをやると、こんなことができるようになるよ。」「これをやれば、みんなから感謝されるよ。」など、「自分の得になる」言葉かけを心がけています。

「やったら良いことがある」「やったら嫌なことがなくなる」の2つを考えるのがポイントです。

「やらなかったら大変なことになるよ」など、危機感をもたせることは避けましょう。

②「やりたいことリスト」と「やることリスト」を作る。

「好きなことをずっとやりたい」気持ちは、子供だけでなく、大人にもありますね。大人の都合を押し付けてばかりでは、「やる気」は育ち辛いものです。

そこで子供自身が納得して行動するために、「やりたいこと」をリスト化し、そのために必要な行動（やること）を考えます。「やりたいこと」をするためには、「やること」の大切さ・メリットを伝えていくことが大切です。

その上で、限られた時間の配分と順番を一緒に考えていただければと思います。

引用・参考文献：絵で見て分かる発達の子の気になる子のための「ひとりできる力」が身につく実行機能トレーニング 著者：高山恵子

6月の学習予定

・段ボールタワー

・気持ちの言葉

・気持ちのわっかとり

・ふわふわ言葉ちくちく言葉

・きりかえ言葉

・まいっかドミノ など



<4、5月はこんなことをしました>

【心の温度計】

その日の自分の体調や気持ちについて、8つの表情カードから1～2つを選んで発表します。「元気すっきり、いい感じです。」と答える日もあれば、「疲れた・ぐったりです。」と答える日もあります。大切なのは、自分の調子に合ったものを選ぶということです。なぜそれを選んだのか、理由について考えることで自身について振り返ることができます。また、自分の気持ちに気付かせることで、その1時間どんなことに気を付ければいいのか、客観的に考えるきっかけにもなっています。

8つの表情カード



【南平探偵社】

背中に貼られた「答え」が何かを、友達や先生に特徴に関する質問を重ねながら、答えを想像する活動です。答えを当てることを目標とせず、「どう質問すれば、自分が必要な情報を得られるか」「はっきり分からなくても、『これじゃないか』を楽しめるか」を目標としています。

子供たちは、「これは、温かいですか」「麺類ですか」など、相手が答えやすい質問を考えたり、「迷うけど、これじゃないかな…」と納得できなくても、答えを想像したりするを楽しんだりする様子が見られました。



【すきまクイズ】

パーティション間の10cmほどのすき間をよく見て、何が通ったかを判断します。通るのは一瞬です。集中して見て、何が通ったか分かったら、静かに手を挙げます。答えが分からないときは、「お願いしてもう一回見せてもらう」「通る速さを遅くしてもらおう」などの丁寧なお願いの仕方を確認しました。

答えが分かってもすぐに言わない子、丁寧に「もう一回お願いします」「もう少し、ゆっくりにしてください」とお願いする子、様々な子供たちの様子が見られました。

【おねがい】

- ・7月23日～7月30日の期間に、ステップ三者面談を行います。詳細は、別途配布する希望調査のお便りをご覧の上、期日までにご提出をお願いいたします。